

快適性（心地）の数値化・分析法と商品開発への適用

商品の触り心地や快適性に関わる、多方面の業種の方のご参加を歓迎します

日時
2018年 10月12日（金）
10：30～16：30

受講料

1名 44,000円＋税
2名以上1名 40,000円＋税

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線（緩行線）
地下鉄東西線（A5出口）
地下鉄有楽町線・南北線（A4・B2a出口）
都営地下鉄大江戸線（A4出口）

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先（TEL・FAX・E-mail）をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。（個人申込除く）
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室（東京都千代田区富士見1-5-1）

講座のポイント

- 「心地」を数値化する官能検査を演習形式で習得します。
- 製品の心地と「硬軟感」「温冷感」などの物理特性の関連について理解します。
- 製品開発の具体例を演習形式で習得します。

講師 信州大学 繊維学部 特任教授 西松豊典氏

プログラム

- ・人間の視覚機能と視覚による製品評価方法について
- ・人間の触知覚機能について
- ・人間快適工学とは
- ・「快適性（心地）」を数値化する官能検査を行うには
 - (1)官能検査とは
 - (2)官能検査を行う前の準備（被験者、試技、評価形容語、実験環境の選定）
 - (3)被験者の判定能力の検定について【演習】
 - (4)一対比較法による官能検査について【演習】
 - (5)SD法による官能検査について【演習】
- ・製品の「快適性（心地）」を物理特性と関連付けるには
 - (1)「硬軟感」に関連する圧縮特性の測定・評価方法
 - (2)「粗滑感・乾湿感」に関連する摩擦特性の測定・評価方法
 - (3)「温冷感」に関連する温熱特性の測定・評価方法
- ・快適性（心地）を評価しているときのヒトの生理的機能量の測定法
 - (1)ストレスと脳波、心電図結果との関係について
 - (具体例；匂いがスーツの着心地に及ぼす影響）
- ・製品開発の具体例
 - (1)カーインテリアの「触感」を数値化する（因子分析を用いて）【演習】
 - (2)ステアリングホイールの「握り心地」を数値化し、予測する（主成分分析、重回帰分析を用いて）【演習】

Solution and Consulting / 質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 快適性（心地）の数値化・分析法と商品開発への適用

セミナーコード

1101-181012

太枠内をご記入の上FAX（03-3264-5675）してください。

2018/10/12 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課（正式名称）	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
窓口部署			お支払予定	当日持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				